

2023年9月17日

株式会社 GT アソシエーション

FIA-F4 事務局

## FIA-F4 選手権 第10戦 決勝上位コメント

### ■ 第10戦 決勝1位 ト部和久【#81 BJ Racing F110】



「前回の鈴鹿大会から調子が上がっていて今週も調子が良く、さらに予選は得意なダンプ（濡れと乾きが入り交じる）路面ということで“こしかない”と思って攻めた結果、ポール（ポジション）を獲得することができました。初めてのポールからのレースでしたが、とにかく自分との戦いに集中しようと思い、ミラー（後続車）は気にせず走りました。スタートでトップを守った後のペースも、昨日（第9戦）からセッティングを大幅に変えて大分良くなっていました。三井選手のペースには少し足りなくて追いつかれてしまいましたが、ミスなく走り続けられれば勝ると、強い気持ちを持ち続けました。この優勝でチームの士気もすごく上がっているし、自分も“走れている”感触があるので、残り2大会もたくさんポイントを獲得したいです！

### ■ 第10戦 決勝2位 三井優介【#5 HFDP RACING TEAM】



「スタートは良かったものの（トップを）抜くことができず、その後も前半区間はレコードラインが滑る状況だったので無理せず、後ろも離れていったので2周目から攻めようと考えていました。でもどうしても追い抜くところまではいかなくて、いろんなアプローチを試してみた結果、1コーナーでオーバーランしてしまいチャンスを失いました。それがなければ、まだチャンスがあったのかも知れません。自分の弱さが出てしまったレースだったのかなと思います。最後まで近づくことができ“絶対抜いてやる”と思っていましたが、SC（セーフティカー）が入ってしまったので……。残り2大会も、ランキングトップに立てたことをポジティブに捉え、心の余裕を持って頑張っていきたいです」

### ■ 第10戦 決勝3位 森山冬星【#7 HFDP RACING TEAM】



「昨日（第9戦）はスタートで1台に抜かれてしまい、スタートはずっと課題だと思っていたので“今日は絶対決めてやる”と強い気持ちを持っていました。その結果1台抜くことができ、その後の組み立ても良かったと思います。まさか2台同時（に抜ける）とは思っていませんでしたが、オーバーテイクする自信もありました。後半も優勝が狙えるペースはあっただけに、予選が悔やまれます。でもこの2度目の表彰台は自信になったし、やっとここまでの努力が実った気がします。これからももっと努力して、次のオートポリス戦から全勝できるよう頑張ります」

### ■ 第10戦 インディペンデントカップ優勝 藤原 誠【#13 B-MAX ENGINEERING】



「SUGO 連勝は嬉しいですが、SC（セーフティカーで）終了ということで“やった”という感じはあまりなかったです。でも勝ちも勝ちなので、有難く受け止めたいと思います。スタートから今田選手には攻められました、とにかく最初の1周目を抑えようと頑張りました。その後、DRAGON 選手に近づかれたときも、抜かれるポイントだけ抑えることを意識して走った結果、引き離すことができました。なので、ペースも良かったと思います。ランキング（タイトル争い）についてはまだ意識していません。次のオートポリスも攻められるだけ攻めて、そこまた結果が良かったら、もてぎ（最終大会）で初めて意識します。とにかく今年は練習の年なので」